



Oracleホワイト・ペーパー
2013年7月

Microsoft Windows向けOracle Database 12cでのOracleホーム・ユーザーの導入

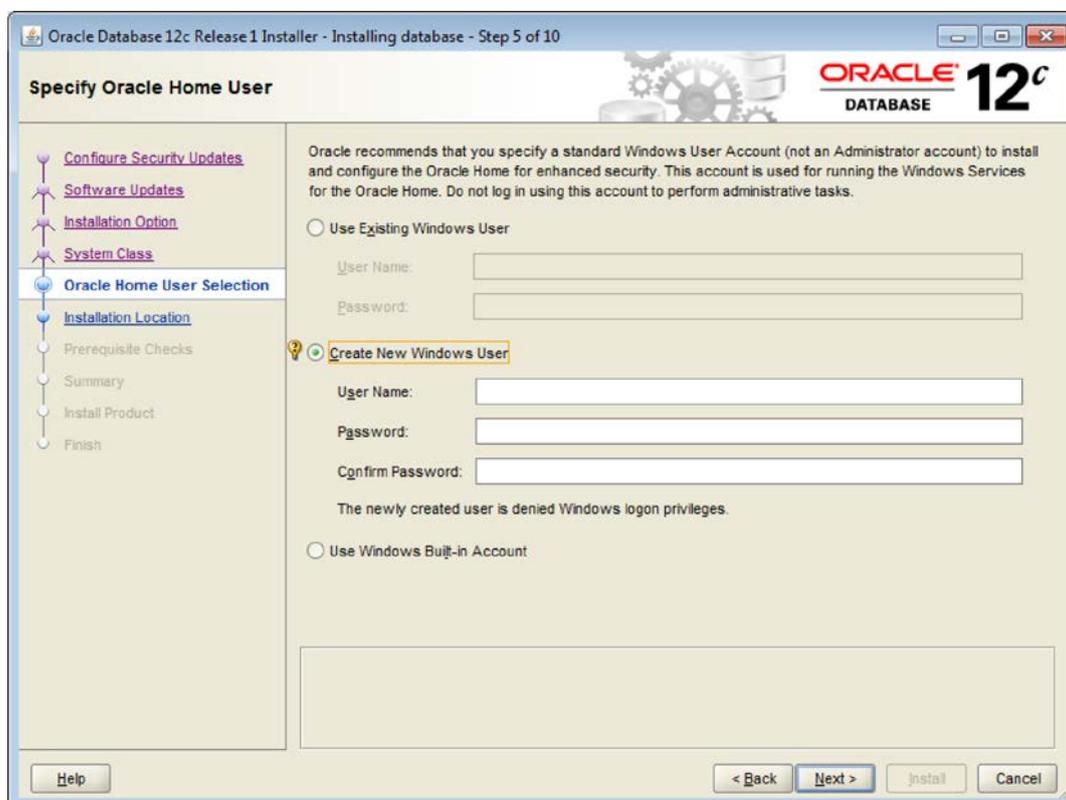
はじめに

Oracle Database 12c Release 1 (12.1) 以降では、Microsoft Windows上のOracle Databaseで、インストール時に指定したOracleホーム・ユーザーの使用がサポートされています。このOracleホーム・ユーザーは、OracleホームのためのWindowsサービスの実行に使用されます。これは、Linux上のOracle Databaseに対するOracleユーザーと同様です。このユーザーはOracleホームに関連付けられます。インストール後は別のユーザーには変更できません。システム上の異なるOracleホームで、同じOracleホーム・ユーザーを共有することも、異なるOracleホーム・ユーザーを使用することもできます。

Oracleホーム・ユーザーは、Oracleインストール・ユーザーとは異なります。Oracleインストール・ユーザーは、オラクル製品をインストールする管理権限を必要とするユーザーです。Oracleホーム・ユーザーはOracleホームのためのWindowsサービスの実行に使用されます。

Oracleホーム・ユーザーには、Windowsの組込みアカウントまたはWindowsユーザー・アカウントを使用できます。セキュリティ強化のため、データベース・サーバーのインストールには、Oracleホーム・ユーザーとして標準のWindowsユーザー・アカウントを選択することを推奨しています。Windowsユーザー・アカウントを使用する場合、管理者ではなく、標準のWindowsユーザー・アカウントにする必要があります。また、単一インスタンス・データベースをインストールする場合は、ローカル・ユーザー、ドメイン・ユーザー、または管理されたサービス・アカウントを使用できます。Oracle Database Real Application Clustersをインストールする場合は、Windowsユーザー・アカウントをドメイン・ユーザーにする必要があります。各種のWindowsユーザー・アカウントの詳細は、Microsoft Windowsのドキュメントを参照してください。

インストール



WindowsへのOracle Database 12cのインストール中に、3つのオプションがある上記の画面がインストーラに表示されます。これらのオプションについては、以下に説明します。

Use Existing Windows User

Use Existing Windows User オプションを選択する場合、管理者ではなく、標準のWindowsユーザー・アカウントにする必要があります。単一インスタンス・データベースをインストールする場合は、ローカル・ユーザー、ドメイン・ユーザー、または管理されたサービス・アカウントをユーザーとして使用できます。これがOracle RACデータベースのインストールの場合は、既存のユーザーをWindowsドメイン・ユーザーにする必要があります。このユーザーに管理者権限がある場合、Oracleデータベースのインストーラにはエラーが表示されます。

Create New Windows User

Create New Windows User オプションを選択する場合、Oracleデータベースのインストーラによって、Oracleホーム・ユーザーとして使用する新しい標準のWindowsユーザー・アカウントが作成されます。このユーザーにはログイン権限はありません。このオプションは、Oracle RACデータベースのインストールには使用できません。

Use Windows Built-in Account

Use Windows Built-in Accountオプションでは、Oracleホーム・ユーザーとしてWindowsの組み込みアカウントが使用されます。

Oracleホーム・ユーザー・ユーティリティと既存のデータベース・ツールへの変更

Oracleホーム・ユーザーとして標準のWindowsユーザー・アカウントを使用できますが、Windowsツールを使用すると、パスワードを変更するなど、このWindowsアカウントを管理できます。ただし、Windowsパスワードが変更された後で、そのWindowsユーザー・アカウントで実行されるすべてのOracleサービスのパスワードを更新する必要があります。この作業を簡単にする目的で、このリリースでは、Oracleホーム・ユーザー・コントロールと呼ばれる新しいユーティリティが導入されました。このユーティリティには、Windowsのプログラム・メニューからショートカットとしてアクセス可能です。これは現在のOracleホームに関連付けられたOracleホーム・ユーザー名を表示し、そのWindowsユーザー・アカウントで実行されているすべてのOracleサービスのパスワードを更新する、コマンドライン・ツールです。

一部のWindows上のOracleサービスには、Oracleホーム・ユーザーの資格証明を使用してサービスの作成および変更を行ううえで役に立つ新しいツールも備わっています。これには、Oracle Services for MTSのoramtsctl.exeや、Oracle Database Extensions for .NETのOraClrCtl.exeなどがあります。

データベースで提供される標準ツール（*oradim.exe*など）の多くは、Oracleホーム・ユーザーのパスワードが受け入れられるように、このリリースで更新されています。また、これらのツールは、標準入力（stdin）を介したパスワード情報も受け入れられるように変更されています。そのため、データベース・タスクのスク립ト化がより簡単かつ安全になりました。

その他の情報

Oracleホーム・ユーザーと、それに関連するOracle Universal InstallerとOracle Databaseユーティリティへの変更内容の詳細は、『Oracle Databaseプラットフォーム・ガイドfor Microsoft Windows』と『Oracle Databaseインストレーション・ガイドfor Microsoft Windows』を参照してください。これらは両方ともOracle Databaseドキュメント・ライブラリから利用可能です。



Microsoft Windows向けOracle Database 12c
でのOracleホーム・ユーザーの導入
2013年7月

著者：Christian Shay

Oracle Corporation
World Headquarters
500 Oracle Parkway
Redwood Shores, CA 94065
U.S.A.

海外からのお問い合わせ窓口：
電話：+1.650.506.7000
ファクシミリ：+1.650.506.7200

oracle.com



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本書は情報提供のみを目的としており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴおよびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0113

Hardware and Software, Engineered to Work Together